

# 日本保育学会第74回大会 採択演題一覧(自主シンポジウム)

2021/3/16 <1/2>

投稿番号	筆頭発表者	演題名	演題番号	発表日	時間	会場
J000006	岡本 拓子	多文化状況下における幼小接続の取り組み –ベルギー、ドイツの実践から–	J-A-1	5月15日(土)	13:00~14:00	第3会場
J000007	矢野 潔子	幼保連携型認定こども園における子育て支援について考える	J-A-2	5月15日(土)	13:00~14:00	第4会場
J000008	平林 祥	乳幼児教育・保育施設におけるリーダーシップのあり方の検討 –大阪府幼児教育・保育質向上システム(OPARK)の視点から–	J-A-3	5月15日(土)	13:00~14:00	第5会場
J000009	増田 まゆみ	指導実習のあり方を問うー「保育の過程理解」の視点でー	J-A-4	5月15日(土)	13:00~14:00	第6会場
J000010	工藤 英美	障害児保育運動とインクルーシブ保育	J-A-5	5月15日(土)	13:00~14:00	第7会場
J000011	田中 浩司	我が国の保育実践における所属感(Sense of Belonging)概念の適用可能性	J-A-6	5月15日(土)	13:00~14:00	第8会場
J000012	井上 孝之	保育の質向上のためのICTの活用	J-A-7	5月15日(土)	13:00~14:00	第9会場
J000013	大沢 裕	子どもの生活技術—器用・不器用を考える	J-A-8	5月15日(土)	13:00~14:00	第10会場
J000014	園川 緑	子どもたちすべてが力を発揮する保育を—多職種との協働—	J-A-9	5月15日(土)	13:00~14:00	第11会場
J000015	渡邊 哲也	共育とは何か〜コロナ禍でキリスト教保育の養成について考える	J-B-1	5月15日(土)	15:45~16:45	第3会場
J000016	名須川 知子	身体表現におけるリズムの史的変遷—保育内容「表現」の展望—	J-B-2	5月15日(土)	15:45~16:45	第4会場
J000017	内田 祥子	ドキュメンテーション実践の理論的展望と課題—イメージ媒体を用いた子どもの参加—	J-B-3	5月15日(土)	15:45~16:45	第5会場
J000018	佐木 みどり	子どもにとって「楽しい」遊びや活動にするために –アートに取り組む子どもの姿から–	J-B-4	5月15日(土)	15:45~16:45	第6会場
J000019	橋本 祐子	乳幼児は自発的な遊びの中でどのような知的関係づけをするのか—ピアジェの構成論から子どもの認知発達を考える—	J-B-5	5月15日(土)	15:45~16:45	第7会場
J000020	浅井 幸子	ベダゴジカル・ドキュメンテーションの理論的・実践的な可能性	J-B-6	5月15日(土)	15:45~16:45	第8会場
J000021	植村 朋弘	「生きるいとなみとしての子どものアートの思考を語り合う」—日本とレッシュ・エミリアにおけるプロジェクトアプローチに着目して—	J-B-7	5月15日(土)	15:45~16:45	第9会場
J000022	中坪 史典	園におけるミドルリーダーのリーダーシップを考える	J-C-10	5月16日(日)	10:00~11:00	第11会場
J000023	伊藤 理絵	障害をともに考える保育者養成—当事者との出会いから—	J-B-9	5月15日(土)	15:45~16:45	第11会場
J000024	堀 祥子	保育者養成校の大学生の学びと「つながる、広がる、深まる」地域連携ワークショップの形 ~コロナ時代のピフォア・アフターを考える~	J-C-1	5月16日(日)	10:00~11:00	第2会場
J000027	井上 美智子	自然と関われば、持続可能な社会を創ることができるのか? –幼児期の持続可能性のための教育を考える-	J-C-2	5月16日(日)	10:00~11:00	第3会場
J000028	林 浩子	"おもしろさ"が見えるとき—表現を手がかりにして—	J-C-3	5月16日(日)	10:00~11:00	第4会場
J000029	堀田 博史	幼児教育でのICT活用の効果と課題	J-C-4	5月16日(日)	10:00~11:00	第5会場
J000030	鍋島 恵美	コロナ禍の緊急事態宣言発令時に幼・保の保育者は何に取り組んだか	J-C-5	5月16日(日)	10:00~11:00	第6会場
J000031	田中 謙	資源開発のための保育所マネジメント手法	J-C-6	5月16日(日)	10:00~11:00	第7会場
J000033	増田 翼	保育の質の確保・向上のために求められる「情報発信の質」とは~高校・養成校・保育現場および自治体の連携を通して~	J-C-7	5月16日(日)	10:00~11:00	第8会場
J000034	松永 静子	保育における越境:新たなリーダー像を目指して	J-C-8	5月16日(日)	10:00~11:00	第9会場
J000035	本岡 美保子	保育者のエージェンシーを生かす研修とは—活動理論を手掛かりとした保育研修の構想に向けて—	J-C-9	5月16日(日)	10:00~11:00	第10会場
J000036	関口 はつ江	保育の質を高める保育者のかかわりとは—その3— 集団の場の状況性・関係性に着目して—	J-B-8	5月15日(土)	15:45~16:45	第10会場
J000037	西村 実穂	もうこれ以上、保育者の仕事を増やすな!	J-D-1	5月16日(日)	12:45~13:45	第2会場
J000038	爾 寛明	実行機能とごっこ遊び	J-D-2	5月16日(日)	12:45~13:45	第3会場
J000039	井口 眞美	コロナ下の保育の現状と課題 –10の姿を切り口として—	J-D-3	5月16日(日)	12:45~13:45	第4会場
J000040	田中 卓也	絵本作家が抱く子ども観と保育学生の絵本選び—絵本の読み聞かせに役立てるために—	J-D-4	5月16日(日)	12:45~13:45	第5会場
J000041	塩崎 美穂	子ども自らのアイデンティティ構築にむけて—公的保育カリキュラムの創造	J-D-5	5月16日(日)	12:45~13:45	第6会場
J000042	犬塚 典子	相模原市におけるすべての保育者に向けた研修の取り組み—公と私・幼と保・認可と認可外の垣根を越える3年間—	J-D-6	5月16日(日)	12:45~13:45	第7会場

投稿番号	筆頭発表者	演題名	演題番号	発表日	時間	会場
J000044	高村 真希	保育者養成校で学ぶ学生の「学びの過程」と「心の揺れ動き」を探る-共に学び合う共同体として-	J-D-7	5月16日(日)	12:45~13:45	第8会場
J000045	刑部 育子	夕方の保育の探究—認定こども園における教育標準時間外のカリキュラムの検討を通して—	J-D-8	5月16日(日)	12:45~13:45	第9会場
J000046	逆井 直紀	コロナ禍の保育実態と、制度・基準改善の課題	J-D-9	5月16日(日)	12:45~13:45	第10会場
J000047	鈴木 健史	保育現場におけるコミュニケーションツールとしてのプロジェクター活用—子どもと保育者と保護者で織りなす共創空間—	J-D-10	5月16日(日)	12:45~13:45	第11会場
J000048	桜井 ますみ	病児・病後児保育見える化5か年計画—つながる、広がる、深まる—	J-E-1	5月16日(日)	14:15~15:15	第3会場
J000049	菊地 知子	現場における同僚性を考える—子どもも大人も育ち合う保育の場をめざして—	J-E-2	5月16日(日)	14:15~15:15	第4会場
J000050	笠間 浩幸	園庭の「砂・土」環境から探る保育・教育の質的向上	J-E-3	5月16日(日)	14:15~15:15	第5会場
J000051	児玉 珠美	乳幼児への語りかけ方「マガリーズ」とは何かⅡ—多様な視点での検討—	J-E-4	5月16日(日)	14:15~15:15	第6会場
J000052	岡本 紀子	0歳児、1歳児、2歳児の"スゴイ"からの気づき—"じーつと見つめる"ことから—	J-E-5	5月16日(日)	14:15~15:15	第7会場
J000053	今川 恭子	養成校における領域「表現」の展望—アフターコロナの授業を一緒に考えませんか—	J-E-6	5月16日(日)	14:15~15:15	第8会場
J000054	生井 亮司	哲学対話における「あいだ」の意味—保育の諸相を手がかりに—	J-E-7	5月16日(日)	14:15~15:15	第9会場
J000055	善本 眞弓	コロナ禍における子どもの育ちを保障する遊び・おもちゃ	J-E-8	5月16日(日)	14:15~15:15	第10会場
J000056	矢野 景子	子どもの権利条約と保育実践とのつながりを考える—組織において「子どもの権利」を再考することの意味—	J-F-1	5月16日(日)	17:00~18:00	第6会場
J000057	大島 光代	大学における幼児向けESD事業の展開—大学の専門性を活かした地域への貢献—	J-F-2	5月16日(日)	17:00~18:00	第7会場
J000058	平沼 博将	「保育事故」をなくすために(5)—子どもの命を守る保育の基準を再考する—	J-F-3	5月16日(日)	17:00~18:00	第8会場
J000059	仙田 考	子どもの主体的なあそび、学び、育ちを支える園庭・校庭・まちの環境について考える4—コロナ禍・AI時代のなかで、自然とのふれあいの機会の重要性・可能性を再考する—	J-F-4	5月16日(日)	17:00~18:00	第9会場
J000060	小林 みどり	子どもの生活経験を広げ深める教材や環境V—幼稚園と小学校の教育実践から考える—	J-F-5	5月16日(日)	17:00~18:00	第10会場
J000061	坂田 和子	保育の質向上につながる学校関係者評価—子どもを中心とした生態学的システムへの私立幼稚園団体からの発信—	J-F-6	5月16日(日)	17:00~18:00	第11会場